浪江町

浪江町の畜産業再生に向けての取り組み

1　浪江町の畜産概要

(1)震災前

全農家(1,019 戸)の内、9．3%が畜産に関わっていました。　(2010 農業センサス)

・乳牛飼養農家　32戸　633頭

・肉牛　〃　63戸　512 頭　計95戸　1,145 頭

(2)震災後

・長期避難により、畜産施設・機械の劣化や帰還困難区域内などの理由により、従前に畜産を行っていた浪江町で牛飼養を再開した農業者はいません。

2　浪江町の農林水産業の再興

浪江町復興計画　第 3 次(令和 3 年度～令和 12 年度)における農林水産業再興の施策目標

↓

「町内全域に農地を再生し、農業の再生を推進します。」

・このうち畜産業については、畜産業再生拠点として復興牧場の整備に取り組むとともに、米や野菜を生産する耕種農家との耕畜連携(※)による循環型農業を推進します。

※耕畜連携：耕種農家へ畜産農家から堆肥を供給したり、逆に耕種農家が飼料を生産し、畜産農家に供給したりするなど、耕種農家と畜産農家が連携した取り組み

3　畜産業再生に向けての連携

(1)浪江町における畜産振興及び耕畜連携体制構築に関すること

(2)復興牧場の整備建設に関すること

(3)復興牧場の運営に関すること

(4)人材の確保・育成に関すること

(5)その他必要と認める事項

裏面あり

4 復興牧場の概要

農業再生の施策の一つとして大規模畜産復興牧場を整備し、畜産業の再興・振興、たい肥活用などの耕畜連携を図り、浪江町の農業再生を加速します。

(1)**敷地面積**　約24ヘクタール

(2)施設面積　約 5ヘクタール

(3)施設概要

搾乳牛舎、搾乳舎、育成舎、堆肥発酵・堆肥舎、バイオガスプラント、管理棟、研修棟　等

(4)生産品目

・乳牛により生乳を年間10，000トン生産
・乳牛の更新のため搾乳用の素牛を育成
・場内の牛糞尿により堆肥を年間12，000トン生産　等

(5)飼育頭数等

・乳用経産牛　1，300頭（年間平均）
・搾乳素牛　　80頭
・肥育素牛　　700頭（年間販売頭数）　等

(6)経営

・福島県酪農業協同組合、全国酪農業協同組合連合会、被災休業酪農家等の出資による新法人を予定
・雇用人数　　30名（見込み）